

News Release

Contact: マーケティング & コミュニケーション部
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russellinvestments.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ
<https://russellinvestments.com/jp>

発信日: 2017年9月6日

ラッセル・インベストメントの最高経営責任者(CEO)に ミシェル・R・サイツを任命

資産運用業界における 30 年の経験を活かし、グローバル・マルチ・アセット・カンパニーの次なる成長段階を牽引します。

ラッセル・インベストメント(本社: 米国ワシントン州シアトル市)は 9 月 5 日(米国時間)、ミシェル・R・サイツが最高経営責任者(CEO)に任命され、取締役役に就任したことを発表いたしました。サイツは 2018 年 1 月 1 日に取締役会の会長となり、シアトル本社を拠点として活動を開始します。レオナルド・P・ブレナンは、2017 年末までラッセル・インベストメントの会長を務め、その後は当社グループの戦略アドバイザーに就任する予定です。

世界の資本市場が機動的でリスク管理されたトータル・ポートフォリオ・マネジメント機能を必要とし、投資家の皆様の運用成果重視のソリューションに対するニーズの高まりにラッセル・インベストメントのマルチ・アセット・アプローチが対応する中、資産運用業界において 30 年以上の経験を有する業界リーダーの一人であるサイツは、ラッセル・インベストメントの経営を引き継ぎ、継続的な成長を推進してまいります。

「ラッセル・インベストメントは、30 年以上に亘る資産配分戦略策定機能と運用会社に対する優れた洞察力に始まり、ファクター・エクスポージャー投資への早期の取り組みや競争力のあるポートフォリオ執行機能に至る、今日の投資環境における成功に不可欠と考えられる最先端の資産運用事業を展開しています。」とレバレンス・キャピタル・パートナーズとともに 2016 年にラッセル・インベストメントを買収した TA アソシエーツのマネージング・ディレクターであるトッド・R・クロキットは述べています。また、「ラッセル・インベストメントの新 CEO としてサイツを迎え入れることはエキサイティングなことであり、同氏の将来を見据えることのできるリーダーシップが、ラッセル・インベストメントのお客様と従業員にとって有益な進化と成長の新しい段階に導いていくことを確信しております。」とも述べています。

レバレンス・キャピタル・パートナーズのマネージング・パートナーであるミルトン・R・バーリンスキーは次のように述べています。「私どもは、20 年以上に亘るクライアントサービスを通じて、ラッセル・インベストメントに多大な貢献をしたブレナンに大変感謝しています。過去 6 年間のブレナンのリーダーシップの下で、ラッセル・インベストメントが世界の投資家の皆様のご要請に対応した資産運用業界をリードするマルチ・アセット・ソリューション機能や広く認知された OCIO サービス機能をご提供していくための資産運用におけるイノベーションを可能とする基盤が構築されました。」サイツは、4 大陸の 10 都市に 1,400 人以上の従業員とオフィスを持つ資産運用会社 ウィリアム・ブリア・インベストメント・マネジメント(以下 WBIM)における 7 名からなる執行委員会の執行役員および CEO としての計 16 年間に及ぶ従事経験の後、ラッセル・インベストメントに入社いたします。サイツのリーダーシップ下において、同氏は WBIM の変革と 5 倍に及ぶ成長を主導し、同社を地域の富裕層向けビジネスのフランチャイズから、現在の国際的に認められたグローバルな資産運用会社に発展させました。サイツは、WBIM の機関投資家ビジネスにおける受託資産残高を 23 億ドルから 650 億ドルへ飛躍的に拡大する成長を導いた一方で、卓越したお客様志向、妥協なき誠実性、そして、従業員関与の企業文化を培い、Pension & Investments 誌による「“Best Places to Work in Money Management”¹」賞を同社が 4 回受賞するに至ったことは特筆に値すると考えています。

¹ <http://www.bestplacetoworkmm.com/> 参照

こうした実績に照らせば、サイトは、新たにラッセル・インベストメントのブランドを活かし、また、機関投資家や財務アドバイザーがダイナミックなグローバル資本市場と対峙し、必要とされる運用成果の実現に貢献する機会を追求することで、ラッセル・インベストメントの成長を導く役割に大変適した人物と言えます。

サイトは、2001年にWBIMのリーダーシップを取る以前は、同社のプライベート・ウェルス・マネジメント事業を率いていました。また、以前の職務経験には、WBIM、コンコード・インターナショナル・カンパニー、ネーションズバンク各社におけるシニア・ポートフォリオ・マネージャー業務も含まれています。

サイトは2016年には、マネー・マネジメント・エグゼクティブ誌が選ぶ「資産運用業界のトップウーマン」の一人に選出され、最近では米インディアナ大学ケリービジネススクールで最も功績のあるリーダーを称えるケリースクール同窓会アカデミーフェロー賞を受賞しました。サイトは、積極的な資産運用業界への参加者であり、資産運用会社CEOの協会であるUS Instituteの長年に亘る理事であり、European Instituteにも積極的に関与しています。サイトはまた、財務会計基準審議会(FASB)および政府会計基準審議会(GASB)の監督、管理、財務を担当する財務会計財団(FAF)においていくつかの指導的役割を果たしてきました。これには、FAF理事会における直近5年間の任期ならびに執行委員会および財務および報酬委員会の委員長の役割が含まれています。サイトは1990年にCFA協会認定証券アナリスト資格を取得しています。

このリリースの本文は、2017年9月5日にラッセル・インベストメントが米国で発表した英文ニュースリリースを翻訳したものです。

以上

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様に総合的な資産運用サービスを提供しています。運用会社調査、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金、資産運用コンサルティング、売買執行管理など、提供サービスは多岐にわたります。ラッセル・インベストメントは、これら複数の運用サービスを組み合わせ、ポートフォリオレベルで投資家のニーズにお応えするマルチ・アセット・ソリューションをご提供しています。ラッセル・インベストメントのマルチ・アセット・ソリューションは、ポートフォリオ全体を俯瞰しながら、運用戦略をつぶさに分析することで、より多くの投資機会を発掘し、高い柔軟性とさらなる分散効果の向上を目指して構築されています。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、運用資産総額は約31兆円*です。

日本においては1986年に東京オフィスを開業。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは<https://russellinvestments.com/jp>をご覧ください。

* 2017年6月末現在グループ合算、為替換算レート:112.36円/ドル、運用資産総額には、オーバーレイ運用を含みます。

Copyright ©2017. Russell Investments. All rights reserved.

ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。当資料中「ラッセル・インベストメント」は、ラッセル・インベストメントグループの会社の総称です。ラッセル・インベストメントの所有権は、過半数持分所有者のTAアソシエーツおよび少数持分所有者のレバレンス・キャピタル・パートナーズとラッセル・インベストメントの経営陣から構成されています。フランク・ラッセル・カンパニーは、当資料におけるラッセルの商標およびラッセルの商標に関連するすべての商標権の所有者で、ラッセル・インベストメントグループの会社がフランク・ラッセル・カンパニーからライセンスを受けて使用しています。ラッセル・インベストメントグループの会社は、フランク・ラッセル・カンパニーまたは「FTSE RUSSELL」ブランド傘下の法人と資本的関係を有しません。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。

ラッセル・インベストメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第196号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会